



キャッチフレーズ

地域みんなであつなごろう、取組の輪をひろげていごう

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域の力で新たな担い手を増やしていごう

具体的な活動

- 1 新たな担い手を育て、中高生を含めた幅広い世代へ取組の輪をひろげていごう
 - ・Machi-Kirei (マチ・キレイ) やアートイベントなどをとおした芸術と活気があふれる美しいまちづくり
 - ・お祭りなど地域行事への中高生を含めた幅広い世代の参加
- 2 転入者や若い世代、外国籍の方などを含め、小野町のみなさんに行事やイベントが伝わるように、周知方法を工夫します
 - ・掲示の工夫、広報紙の作成と全戸配布、SNSの活用



2 地域のつながりで助け合える、災害に強いまちにしよう

具体的な活動

- 1 災害に備えよう
 - ・地域の福祉施設、病院、企業等と連携した一時避難場所の確保・防災倉庫の整理
- 2 顔の見える関係をつくり、普段から助け合えるまちにしよう
 - ・日頃からの隣近所のあいさつや声かけ
 - ・地域の取組の輪を通して、顔の見える関係づくり
- 3 災害時に支援が必要な人を把握しよう
 - ・要援護者名簿の活用、日ごろからのゆるやかな見守り



3 地域みんなであつなごろう

具体的な活動

- 1 地域資源を活用して健康づくりの活動をしよう
 - ・地域の福祉施設・病院、企業からの出張講座
 - ・保健活動推進員との連携
- 2 高齢者の集まる場や機会を増やしていごう
 - ・カラオケや健康麻雀等、趣味や特技を活かした活動、食事会等
- 3 地域の日常的な活動に積極的に参加するとともに皆さんへ声かけしよう
 - ・ラジオ体操、レクリエーション、運動会等
 - ・ご近所さんを誘ってウォーキングに参加



納涼仮装盆踊り大会

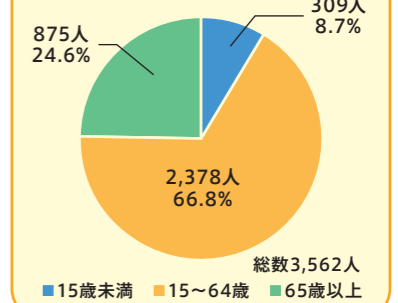


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川に面したエリアで、南北にJR鶴見線が走っています。工場跡地などにマンションや戸建てが建ち、転入者が多い地域です。近年は高齢者施設や医療機関なども建っています。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

- 令和6年11月27日に開催した「あいねっと懇談会」において、現在取り組んでいることの再確認と今後取り組んでいきたいことについて、地域みんなであつなごろうを意見交換を行いました。



共有した内容をシートにまとめ、第5期計画をつくりあげていきました。

これまでの計画(第4期)の振り返り

地域みんなであつなごろう

- 目標① 地域みんなであつなごろう
- 目標② 人のつながりで災害に強いまちにしよう
- 目標③ 地域みんなであつなごろう



★これまでの活動

- ・体育祭: 未就学児から高齢者まで楽しめる競技やお楽しみ抽選会の企画を実施
 - ・納涼仮装盆踊り: 2日間に渡って開催し、2日目は仮装で盆踊り。中学生も出店のお手伝い
 - ・連合防災訓練: 消火栓からホースをつないでの放水体験も実施
 - ・Machi-Kirei (マチ・キレイ) イベント: 3人1組のチームで地域のごみを拾い、拾ったごみの重さを競争
 - ・出前福祉講座: 病院や企業が地域へ出張して健康や福祉に関する講座を開催
 - ・特養ホーム「しょうじゅの里小野」と行事を通じた交流
- ⇒これらの取組みについて年6回発行の広報誌「しゃきょうだより」で特集し、アンケート結果を周知

